

1. 生徒の姿を踏まえた学校改善プランの柱

(1) 主体的に学び、学ぶ意識や価値を理解する柱

- ア 教職員が関わる研修部（教師の指導力の向上を目的としている部会）の活動を活性化させることにより、学習の指導力の向上を図ります。（月最低1回は研修日を設定して、授業の指導力の向上を図ります。一人最低1回は公開授業を行う事により、教師が指導する力を向上させる意識の向上を狙います。）
- イ メンター教員（経験値の少ない教員を指導する教員）を決め、初任段階研修（教師になって5年目までの教員に対する研修）を充実させることにより、教師力の向上を図ります。（教師力とは授業の指導力はもちろんのこと、生徒指導力や学級経営の力などを含む総合的な力のことです。）
- ウ 先進校の取組を積極的に取り入れる体制を構築する事により、最先端の授業を取り入れていきます。

(2) 基礎基本を確実に習得する柱

- ア 家庭学習の手引きを作成し、生徒に家庭学習のやり方を教えることにより、家庭学習の定着を図ります。生徒たちが家庭学習を充実することにより、基礎基本の力を身に付けさせます。
- イ 特別支援学級の生徒、困り感のある生徒に対して、個別の支援計画を作成し、きめ細やかな指導を行います。それにより、生徒たちの個性に合った指導を行うことで、それぞれの個性を伸ばしていきます。
- ウ 個別最適学習（それぞれの学習進度や理解度に合った学習）を導入することにより、一人一人の学習意欲が高まる授業にしていきます。

(3) 学校生活を充実する柱

- ア 生徒会活動を活性化して、生徒主導型の取組を増やします。これにより、生徒たちに自治を行える力を育成していきます。
- イ 不登校生徒、いじめに関して、早期発見・早期解決ができるよう教育相談体制を充実させます。それによって、生徒たちが相談しやすい学校・居場所のある学校を築いていきます。
- ウ キャリア教育（職業調べ学習・職業体験・上級学校訪問）を充実させることにより、将来の目標が持てるように促していきます。

2. 学校改善に向けた具体的方策

(1) 学校における具体的方策

ア 学校経営を改善する具体的方策

- (ア) 教頭を中心とした校務運営委員会（ミドルリーダーが集まって学校の方針を決定する機関）を活性化することで、学校が円滑に運営できるようにしていきます。
- (イ) 働き方改革を推進することで、先生達に余裕ができ、授業改善などに時間を使えるようにしていきます。業務内容の整理することで、業務の効率化を図ります。
- (ウ) 服務規律について、定期的な研修を行い、遵守の意識を向上させます。特に不祥事の防止、体罰の防止、飲酒運転の根絶などを実現していきます。

イ 学習指導を改善する具体的方策

- (ア) 研修部を中心とした教員同士の交流の充実を図ります。これにより、日常的に授業改善に対する意識を向上させます。また、指導主事を計画的に活用することで、授業改善の速度を上げていきます。
- (イ) 幼稚園、小学校や高校の授業視察により、他校種の良い点を積極的に導入していきます。また知床学などについても、連携を意識した教育を目指します。
- (ウ) 特別支援について、支援方法の最適化を図るため、外部人材（スクールカウンセラーなど）を活用します。

(2) 家庭等への具体的方策

ア 家庭への具体的方策

- (ア) 学校だより、安心安全メールなどを活用し、情報提供を積極的に行います。
- (イ) PTA活動の見直しと、保護者が参加できる体制を再構築する予定です。

イ 地域への具体的方策

- (ア) 「知床学」の一層の充実と副読本の活用方法のカリキュラム化を図ります。また、学習では地域人材の活用を促進していきます。
- (イ) 一貫教の充実により、他校種との連携を充実させていきます。